

もしもの災害に備えて



苫小牧市では、水道施設の災害対策を進めています。しかし、最近では大規模な自然災害が頻発しており、断水することも想定されます。場合によっては復旧作業に日数を要し、水が出るまで数日かかることも予想されるため、日ごろからご家庭での対策が必要です。

非常用飲料水の保存

大人1人が生命を維持するために必要な量は1日3リットルと言われています。災害で水が止まったときに、ご家庭でポリ容器等に水をくみ置きしておけば応急給水までの間に大変役に立ちます。



市民の方々と一緒に行った
応急給水訓練の様子▼



給水拠点の確認

苫小牧市では、災害での断水発生時に応急給水拠点を22カ所設けます。下記のQRコード及び苫小牧市のホームページからでも確認できますので、万が一の断水に備え、お近くの給水拠点を確認しておきましょう。

最寄りの応急給水拠点
の確認はこちらから▶



給水容器の準備

市で貯蔵している資材には限りがあります。各ご家庭でポリ容器などの給水容器を用意しておきましょう。



給水容器に水をくむ様子▼



停電のときの備え

一部のアパート、マンション、テナントビルでは、ポンプを使用して給水しているため、停電時に断水になることがあります。停電時にも水が使えるか、管理会社などに確認しておきましょう。



上下水道部職員紹介

水道課工事係
内山 竜暉
(うちやまたつき)

私は主に老朽化した水道管を耐震管に取替える工事の設計・現場監督業務を行っています。

水道課管理係
小田島 司
(おだじまつかさ)

私は水道管の維持管理や水道施設の点検業務を行っています。また、災害等により断水被害が出た場合には迅速に応急給水活動を行います。

水道課計画係
寺本 開人
(てらもと かいと)

私は「苫小牧市新水道ビジョン」に基づき、老朽化した水道施設の更新や耐震化、再生可能エネルギーの活用について、具体的な計画を立てています。

灯油漏れにご用心!

灯油漏れが起きた場合、火災の危険はもちろん、漏れた灯油が水道管に徐々に浸透して...

**水道水が飲めなくなる
ことがあります!**

もしタンクから
—— 灯油が漏れたら

- 火災 ● 河川等の汚染
- 土砂の入替 ● 水道水の汚染
- 近隣への損害賠償

灯油漏れに
気づいたら **すぐに 119番**

【対策】
日々の点検が大切です。

- タンクや建物のまわりで
灯油の臭いがする
- 灯油が急に減った

